

就農とお金のはなし

新規就農は耕作放棄地や後継者問題などの報道が目立って“就農大歓迎！”という感じがしますが、実際に就農しても現実には「お金」の問題でつまづくことが多く見受けられます。

このリーフレットでは、就農時に問題になるお金についてご説明します。

1 新規就農にお金ってかかるの？

農家が普通に使っているトラクターや倉庫。これらは実はかなり高額で、祖父母・親・自分の代と何代にもわたって、設備投資を続けてきた賜物です。

しかし、まったく新規に外部から就農した場合、今さらクワで手作業とはいかないので、トラクターなどを新品でも中古でもいいので調達しないと、とてもじゃないけれどできません。

したがって、最初はこれらの初期投資がかかります。また、慣れないうちは作物の出来も悪く、収入が安定しないため、就農前の貯金を当面の生活費に充てることになります。

2 えっ！いくらかかるの？

実際にどのくらいかかるのか、北九州市での“目安”を見てみましょう。

種類	新品	中古
中型トラクターや小型農機	200～300万円/台	100～200万円/台
ビニールハウス（小型単棟）	10,000円/㎡	5,000円/㎡
肥料や農薬（1作あたり）	10～20万円/10a（1,000㎡・1反）	
農地（水田・借地料・北九州市）	6,000～20,000円/10a（年間）	

もちろん機械などは買わずに借りる方法もありますが、レンタル業者はいません。支援してくれる農家が見つければ、個人的に貸して貰えるかもしれません。

3 じゃあ、実際の営農資金はいくらくらいかかるの？

新規就農から経営が軌道にのるまでには通常4～5年かかるとされています。

次の表は、全国で行われた新規就農者の調査結果です。

就農1年目の費用	金額
営農面（機械、施設、必要経費）の経費	350万円
生活面の経費	100万円
計	450万円

（令和4年3月 全国農業会議所）

この全国調査では、新規就農者の農業所得が95万円（新規就農リーフレット ①）であることから、生活費を100万円/年に抑え、営農の費用を捻出していることが伺えます。また、就農開始直後は安定した農業所得を見込めないため、多くの方が農業融資を受け、営農資金に当てていると思われます。

裏につづく

4 北九州市の場合はどうなの？

これまで市内で就農した方の場合、様々な支援制度などを活用した場合でも、農業経営を軌道に乗せられている方は少数です。

実際に軌道に乗せるには準備や対応が必要で、その内容も就農者一人一人で違います。また、当初の就農イメージと実際の営農形態が、変わってしまう事もあります。



新規就農の相談は
こちらにどうぞ



北九州市内のご相談は

門司区・小倉北区・小倉南区で就農をご希望の方は

北九州市 東部農政事務所

北九州市小倉南区若園5-1-2 小倉南区役所 4階

☎ (093) 951-1020 FAX (093) 922-6403

若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区で就農をご希望の方は

北九州市 西部農政事務所

北九州市八幡西区光明1-9-22 折尾出張所 2階

☎ (093) 693-9912 FAX (093) 693-0675

中間市・遠賀郡でのご相談は

福岡県 八幡農林事務所 北九州普及指導センター

北九州市八幡西区則松3-7-1 福岡県八幡総合庁舎 2F

☎ (093) 601-8855 FAX (093) 601-8869

福岡県域でのご相談は

福岡県農業会議

福岡市中央区天神4-10-12 JA福岡県会館

☎ (092) 711-5070

(公財)福岡県農業振興推進機構

福岡市中央区天神4-10-12 JA福岡県会館

☎ (092) 716-8355